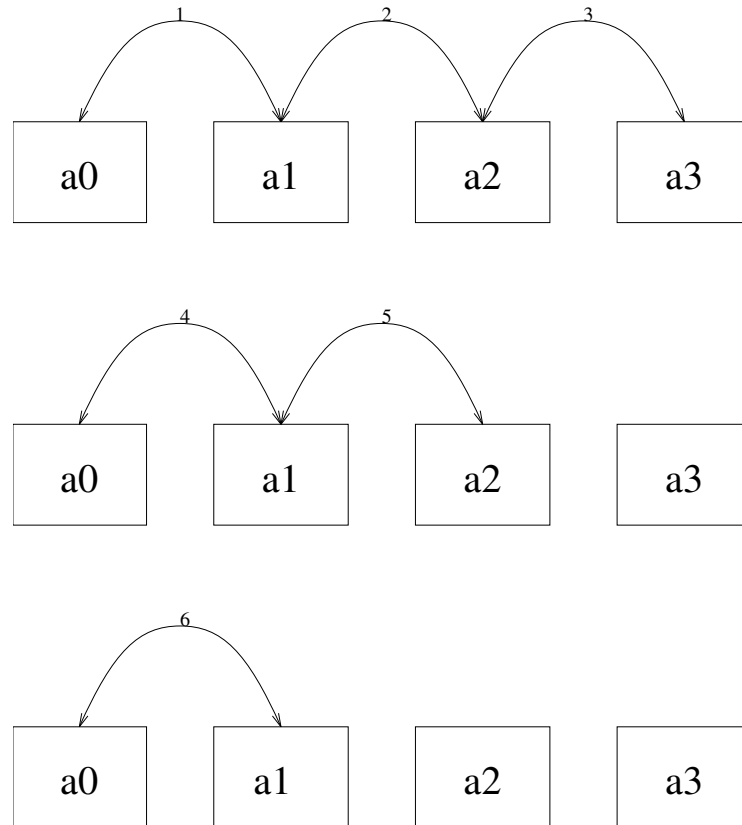


## 6. 配列の応用 -並べかえ (sorting)-

4個の整数値を読み込み、それを小さい順に並べかえることを考えてみよう。データの並べかえの方法はいろいろあるが、そのうちの1つの方法について以下の図で説明する。

双方向矢印で指されているデータ2つを比べて大きい方のデータを右側に移動する。矢印上の数の順に比べて交換していく。6回の比較・(必要であれば)交換でデータ4つを並べ換えることが可能になることがわかる。



このような並べかえの方法を、大きい数が段々と後ろへ移動していくところから泡立ち法 (bubble sort) と呼んでいる。

今、4つのデータが、

```
int a[4];
```

で宣言された配列 a の各要素 a[0], a[1], a[2], a[3] に入っているものとする。(注意: a[4] は使えず a[0] から a[3] までの4個!)

上の方法を使って4個のデータの並べかえをするプログラムは次のように書ける。

```
1  #include <stdio.h>
2  main()
3  {
4      int    a[4];          /* a[0],a[1],a[2],a[3] */
5      int    tmp;
6
7      scanf("%d",&a[0]);
8      scanf("%d",&a[1]);
9      scanf("%d",&a[2]);
10     scanf("%d",&a[3]);
11
12     if (a[0] > a[1]) {
13         tmp = a[0]; a[0] = a[1]; a[1] = tmp; /* swap a[0] and a[1] */
14     }
15     if (a[1] > a[2]) {
16         tmp = a[1]; a[1] = a[2]; a[2] = tmp; /* swap a[1] and a[2] */
17     }
18     if (a[2] > a[3]) {
19         tmp = a[2]; a[2] = a[3]; a[3] = tmp; /* swap a[2] and a[3] */
20     }
21
22     if (a[0] > a[1]) {
23         tmp = a[0]; a[0] = a[1]; a[1] = tmp; /* swap a[0] and a[1] */
24     }
25     if (a[1] > a[2]) {
26         tmp = a[1]; a[1] = a[2]; a[2] = tmp; /* swap a[1] and a[2] */
27     }
28
29     if (a[0] > a[1]) {
30         tmp = a[0]; a[0] = a[1]; a[1] = tmp; /* swap a[0] and a[1] */
31     }
32
33     printf("%d %d %d %d\n",a[0],a[1],a[2],a[3]);
34 }
```

(注意) 変数  $i$  と変数  $j$  の値を入れ換えたい時は、一時的 (テンポラリィ) に値を保持する変数を用意して、

```
tmp = i;
i = j;
j = tmp;
```

などとする。

上の例では 4 個のデータであるが、これが 100 個のデータになると if の数が 4950 回になり、プログラムの行数は 15000 行程度になってしまう。そこで、プログラム中の規則性に注目して for 文を使って書き変えてみよう。

$a[0]$  から  $a[3]$  のうちで最大の要素を最後に移動する作業は

```
for (j = 0 ; j <= 2 ; j++) {
    if (a[j] > a[j+1]) {
        tmp = a[j]; a[j] = a[j+1]; a[j+1] = tmp;
    }
}
```

できる。これで a[3] は決定したので、残りの a[0] から a[2] の最大要素を a[2] に移動する。

```
for (j = 0 ; j <= 1 ; j++) {
    if (a[j] > a[j+1]) {
        tmp = a[j]; a[j] = a[j+1]; a[j+1] = tmp;
    }
}
```

これで a[2] も決定したので、残りの a[0] から a[1] の最大要素を a[1] に移動する。

```
for (j = 0 ; j <= 0 ; j++) {
    if (a[j] > a[j+1]) {
        tmp = a[j]; a[j] = a[j+1]; a[j+1] = tmp;
    }
}
```

以上の操作は for 文の終了条件 <= 数字 のところだけが違うので、

```
for (i = 2 ; i >= 0 ; i--) {
    for (j = 0 ; j <= i ; j++) {
        if (a[j] > a[j+1]) {
            tmp = a[j]; a[j] = a[j+1]; a[j+1] = tmp;
        }
    }
}
```

とまとめられる。

```
1  /* 4つの要素の並べかえ */
2  #include <stdio.h>
3  main()
4  {
5      int    a[4], tmp, i, j;
6
7      for (i = 0 ; i <= 3 ; i++) {                /* 数値の入力 */
8          scanf("%d",&a[i]);
9      }
10
11     for (i = 2 ; i >= 0 ; i--) {                /* 並べかえ */
12         for (j = 0 ; j <= i ; j++) {
13             if (a[j] > a[j+1]) {
14                 tmp = a[j]; a[j] = a[j+1]; a[j+1] = tmp;
15             }
16         }
17     }
18
19     for (i = 0 ; i <= 3 ; i++) {                /* 結果の出力 */
20         printf("%d\n", a[i]);
21     }
22 }
```

[練習 1] データ数を 10 個にする場合はプログラムのどこを変えればよいか?

[練習 2] データ数が変わるたびにプログラムを大きく修正しなくて済むように、データ数  $n$  個 ( $n$  の値は for ループに入る前にセットするものとする) の場合のプログラムはどのようになるか?

[練習 3] データ  $-1$  が入力されるまでデータを読み込み、それを小さい順に並べるにはどうすればよいか?

## break 文

今まで見てきた方法では、最初から  $a[0]$ ,  $a[1]$ ,  $a[2]$  . . . が小さい順に並んでいる時や、並べかえ作業の途中で並べかえが終了してしまった時も、比較が続行されるという無駄がある。そこで、「比較・交換作業の途中で一回も交換が行われなくなったら、並べ変えが終了しているのでそれ以上比較・交換作業を行わない」ということをしたい。

このためには、「ある条件が満たされたら for ループから強制的に抜ける」ことをしなければならない。これには、break 文を使う。たとえば、

```
for(i=1; i<=50; i++) {
    if(n*i > 1000) {
        break;
    }
}
```

という例では、 $n*i$  の値が 1000 を越えた時点で、for ループから抜けることができる。

もし、以下のように多重ループ中で break 文が使われている場合には、

```
for(i=1; i<=50; i++) {
    for(j=1; j<=20; j++) {
        if(n*i*j > 1000) {
            break;
        }
    }
}
```

一番内側のループから抜けるだけで、ループ全体から一挙に抜けることはできない。

[練習 4] break 文を使って、前ページのプログラムを「途中で並べかえが終了した時点で比較・交換作業を終了する」ように変えなさい。